

志 苑

滋賀県総合教育センター所報

〒520-2321 滋賀県野洲市北桜

TEL 077-588-2311 (代表)

FAX 077-586-0011

<https://www.shiga-ec.ed.jp/>



センターHP

Vol.137
50周年記念号

滋賀県総合教育センターは 創立50周年を迎えます

教育センターの使命

所長 猪田 章嗣



昭和28年(1953年)4月、当時の県庁南別館に設置された「滋賀県教育研究所」が、昭和46年(1971年)4月に現在の場所で「滋賀県総合教育センター」として新たに生まれ変わり、以来、今年度でちょうど50年目になります。この記念すべき年に、偶然の巡り合わせですが、教育センターの全国大会を滋賀県で開催することとなりました。新型コロナウイルスの感染拡大が心配される中でしたが、全国から多くの関係者にお集まりいただき、令和2年(2020年)11月20日(金)当センターにおいて、「自律的に学び続ける教職員を支援する教育センターの在り方」を大会テーマに、「全国教育研究所連盟研究協議会(滋賀大会)」を盛大に開催しましたことを報告させていただきます。

さて、当センターは半世紀にわたって滋賀県の教職員の資質・能力向上のために支援をして参りましたが、ここへ来ていくつもの波が同時に押し寄せ、教育界も大きな変革期を迎えています。そのような中、喫緊の教育課題や現場のニーズに対応するため、教育センターの使命を大きく次の三つと捉えています。

一つ目は、新型コロナウイルスの感染を避けた研修・研究の在り方です。今年度早期からオンライン

研修を取り入れましたが、従来の集合型研修ならではのよさもあります。それぞれの研修・研究の効果を最大限上げるために、ハイブリッド型で両方の形態をうまく併用しながら実施していく必要があると考えています。二つ目は、GIGAスクール構想による一人一台端末環境での授業への対応です。コロナ禍で一気に導入が進みましたが、教員の授業構想がなかなか追いついていない現状があります。各校園・市町と連携しながら、当センターにおいても研修・研究・学校等支援事業でICT活用をサポートして参ります。そして三つ目は、新しい学習指導要領への対応です。これまでの教育実践の蓄積に基づく授業改善の活性化により、子どもたちの知識の理解の質の向上を図り、これからの時代に求められる資質・能力を育てていくことが重要です。

授業が変われば子どもが変わる。子どもが変われば学校が変わる。教育の不易の部分の大事にしながらも、これからの時代に求められる資質・能力を育成するために、まずは授業改善に取り組んでいくことが、我々学校教育に携わる者の使命であり責任だと思います。滋賀県総合教育センターは、引き続き次の半世紀も、学び続ける滋賀の教職員を全力でサポートして参ります。



成長するためには

次長 都賀 正樹



かね 金は天下の回り物と申します。回り物と申しますから、何処へでも回ってくるのかと思いますと、それが違うのやそうでございます。回る道が決まっておるのでございます・・・で始まる落語「高津の富」。金は有るところへ、有るところへと、どんどん、どんどん集まるようにできておるのでございます。ですから、お金を貯めようと思えば・・・「まず、お金を貯めなくてはなりません」の名調子で枕が終わる。通勤の車中、今は亡き桂枝雀の名調子を何度聞いたことか。もう、空で言える。はて、これはお金だけの話なのか？優れた教職員へと成長するために必要な知識や技術や経験も、有るところへ、有るところへと集まっているのではないかと。回る道が決まっているのではないかと。

コロナ禍の中、研修や研究を行う必要があるのか、もっとやるべきことがあるのでは等という辛辣な声も耳にした。総合教育センターの存在意義とは何なのかと自問自答したこともある。しかし、我々の使命は県下全教職員の実践的指導力や専門性の向上を図ること。そのためには、まずは教職員に「貯め」て戴くこと。そうすればどんどんと集まってくる。学び続ける教職員へと成長していける。その基礎を「貯める」機関。それが滋賀県総合教育センターなのだ。そして、みんな此処から育ったのだ。

コロナ禍で求められる「学ぶ力」

次長 一色 重紀



人気漫画のアニメーション映画が国内映画興行収入1位を塗り替えた。漫画もアニメも大好きな私は、どちらも鑑賞済だ。

漫画は文字と絵から想像力を働かせ、アニメは動画という膨大な情報で働きかける。アニメが原作以上とか期待外れという評価はよく耳にする。その逆もしかり。触れる者の既有知識等で程度は異なろうが、いずれも、対象に主体的に向き合い、得られた情報を基に独自の世界に踏み込み、相応の感動や多様な評価を得る。当然、単なる比較で終わらず、相互に補完し一層の高みに至ることもあろう。

職業柄、授業ではどうかと考える。主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善が求められているが、授業の各場面で、子どもたちが向き合う対象は何か、学習指導要領が目指す三つの柱を意識し、その育成にどう繋げようとしているか。

コロナ禍で混迷し先行き不安の今、必要な情報を見だし、課題に主体的に取り組み、問題解決に向けて探究する等、教職員自身の力量が試されている。例えば、急速に整ったICT環境も、いち早く良好な教育環境が実現したと捉え、効果的な活用方法を積極的に探究したい。このような状況だからこそ、自律的に学び続ける教職員を支援するセンターとして、現場の皆様に一層活用いただき、共に「学ぶ力」を高めていきたいと願う。

総合教育センターのあゆみ

昭和

- 28. 3 滋賀県教育研究所設置規定制定
- 28. 4 滋賀県教育研究所設置(大津市東浦 県庁南別館滋賀県教委事務局内)
- 31. 4 近畿地区教育研究所連盟に加入
- 32. 4 全国教育研究所連盟に加入
- 36. 11 都道府県五大市教育研究所長協議会結成加入
- 46. 3 滋賀県教育研究所廃止
- 46. 4 滋賀県総合教育センター設置
- 47. 5 滋賀県総合教育センター竣工開所式
- 48. 2 フーコー振り子設置
- 48. 7 プラネタリウム設置
- 49. 3 天体望遠鏡設置
- 58. 10 昭和58年度都道府県指定都市教育研究所長協議会総会並びに研究発表大会開催

- 63. 7 新館建築工事および本館改修工事着工

平成

- 元. 5 新館および本館竣工式
- 8. 6 全国教育研究所連盟総会・研究発表大会開催
- 15. 7 都道府県指定都市教育センター所長協議会総会・研究協議会開催
- 27. 4 小学校派遣研究開始
- 28. 4 プロジェクト研究開始
- 29. 11 近畿地区教育研究(修)所連盟発表会開催
- 30. 4 サテライト研修開始
- 31. 4 サポートバック研修開始

令和

- 2. 11 令和2年度全国教育研究所連盟研究協議会(滋賀大会) 滋賀県総合教育センター創立50周年記念開催

天体観望会で使用する
天体望遠鏡

新館建築工事・竣工



研究発表大会(令和元年度)

令和2年11月20日(金)、滋賀県総合教育センターにおいて、「令和2年度全国教育研究所連盟研究協議会(滋賀大会) 滋賀県総合教育センター創立50周年記念」を開催しました。

全体会

全国の教育研究所・教育センター等から155名のご参加をいただきました。基調講演として、東京大学大学院 藤江康彦教授から、「いま教師に求められる資質・能力と学びの在り方—これからの授業づくりと学校づくりを見据えて—」と題し、「児童生徒や教師の学びについて、「学ぶ側の論理」に立つことをはじめ、多くのご示唆をいただきました。



挨拶(運営委員長・滋賀県総合教育センター所長)



挨拶(全国教育研究所連盟委員長)

令和2年度全国教育研究所連盟研究協議会(滋賀大会)
滋賀県総合教育センター創立50周年記念



基調提案(滋賀県総合教育センター次長)



基調講演(東京大学大学院教授 藤江康彦氏)

分科会

4会場にて、提言発表・研究協議を行いました。
総合講評として、国立教育政策研究所 二井正浩総括研究官、白水始総括研究官から、大会テーマ「自律的に学び続ける教職員を支援する教育センターの在り方」に基づき、学び手が自分事として自身の課題を解決できるように促すこと等、ご助言をいただきました。



提言発表A-1(岡山県)



提言発表A-2(新潟県)



提言発表B-1(福井県)



提言発表B-2(滋賀県)



分科会A-1・A-2の総合講評(国立教育政策研究所総括研究官)



分科会B-1・B-2の総合講評(国立教育政策研究所総括研究官)

会場全体



県内の高等学校、特別支援学校の児童生徒の皆さんが制作した書、花器、フラワーアレンジメント等の作品と、石鹸、クリップ、ティッシュケース等の記念品により、温かく華やかな大会になりました。

キャッフィー、チャッフィーが皆様をお見送りしました。

滋賀県総合教育センターは自律的に学び続ける教職員を支援します！



令和3年度 理念図

子ども一人ひとりの個性を大切に、生きる力を育む

子どもの力を引き出し「夢と生きる力」を育むための教職員の指導力の向上

■授業改善・資質向上

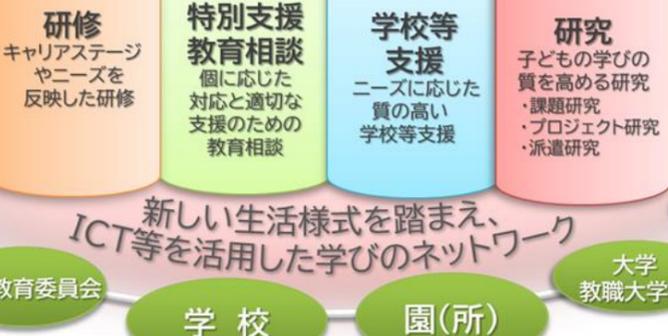
- 新学習指導要領への対応
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業力の向上
- 合理的配慮や授業のユニバーサルデザイン化
- 望ましい集団づくり
- 教職員のファシリテーション力、ICT活用指導力等の向上

■学校改善・働き方改革

- 学校組織マネジメントによる業務改善
- カリキュラム・マネジメントの推進
- 校内研修の充実
- OJTによる同僚性の醸成
- 地域学校協働活動の推進



自律的に学び続ける教職員



NITS・NITS立命館大学センター

市教育研究所・研究機関

市町教育委員会

学校

園(所)

大学 教職大学院

企業・経済団体 公益財団法人

博物館

- 滋賀県教職員のキャリアステージにおける人材育成指標**
- 【管理職】
・学校教育の原動力
・学校経営の推進力
・関係機関との連携力
- 【教諭】
・授業力
・生徒指導力
・学級経営力
・組織対応力
- 【養護教諭】
・専門領域における指導力
・生徒指導力
・組織対応力

子ども一人ひとりの個性を大切に、生きる力を育むために、全ての教職員が、新学習指導要領で求められる授業改善に対応した教科指導力を身に付けること、教職員は学校で育つ「考えのまね」を、自律的に学び、教職員を支援します。

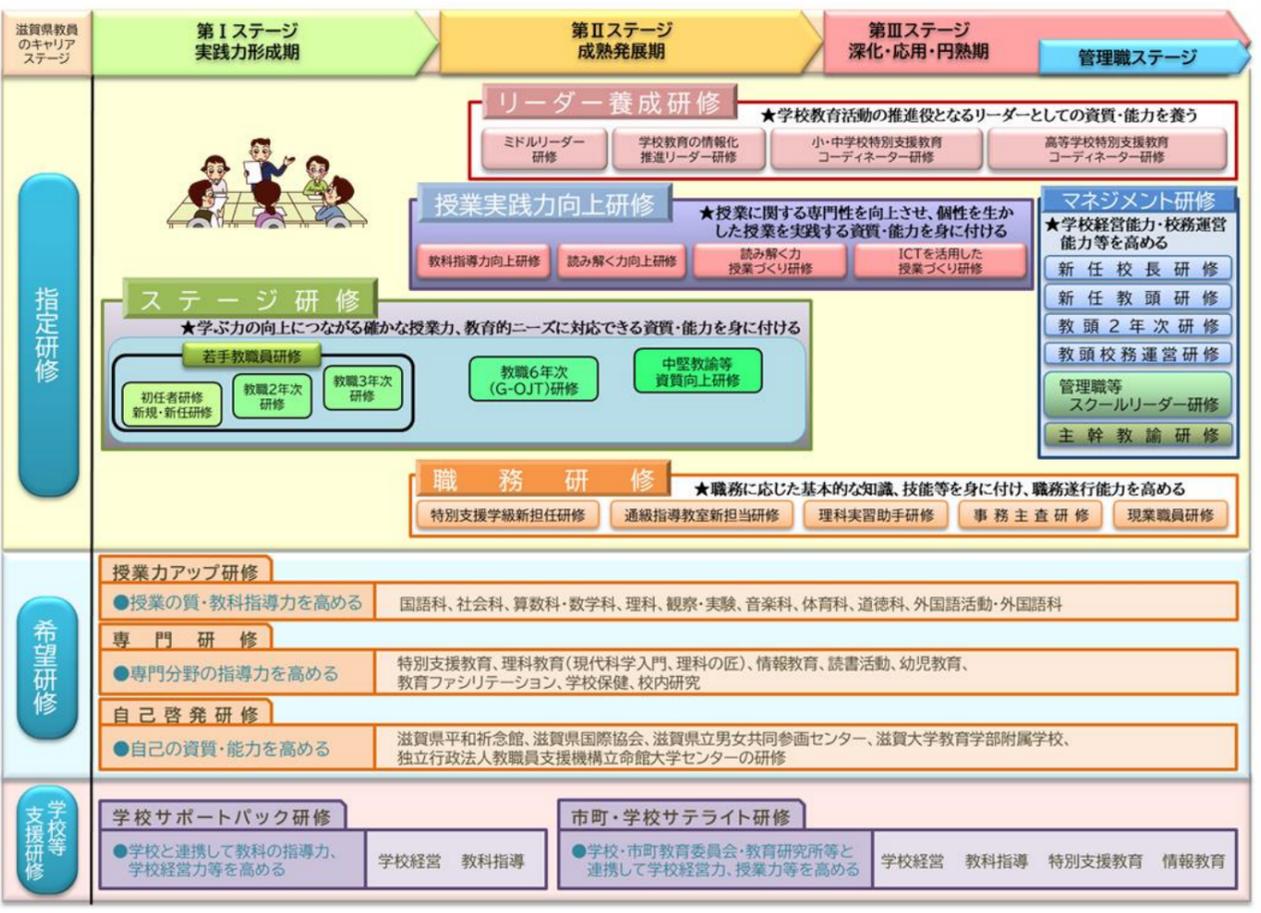
詳しくは「令和3年度(2021年度)研修・事業案内」をご覧ください。



令和3年度 研修事業

子どもの学ぶ力の向上のために、自律的に学び続ける滋賀の教職員の皆さんを支援します。研修では、実践的指導力や個々のキャリアに応じた資質・能力の向上を目指します。

- 指定研修** 協議や演習を活用し、体系的な研修を行います。
- 希望研修** 個々のニーズに応じて、専門性を高めます。
- 学校等支援研修** 学校や市町教育委員会等と連携して、研修を行います。



令和3年度 学びの質を高めるための研究事業

国の動向、県の課題を見ずえた研究事業を推進することで、先進的・先導的研究を直接学校現場へ普及し、学校改善を支援します。

学校に寄り添う研究 実践的な指導力の向上につながる指定校研究や喫緊の教育課題に応じた研究で、学校改善を支援します。

- プロジェクト研究** 研修と実践の往還による実践力の向上を目指す指導改善研究を実施
- 学校派遣研究** 研究員が毎週1日、受入校で勤務し、学校の課題に応じた学校改善研究を実施
- 課題研究** 喫緊の課題に対応した先進的・先導的な教科・領域研究を実施

センター研究成果情報

最新情報です！ぜひご覧ください！

研究紀要・報告書 研究成果物

研究成果情報…センターで行ってきた教育研究の成果をご覧ください、授業等にご活用ください。

センターHPで令和2年度までの研究成果をご覧ください。

令和3年度 質の高い学校等支援事業

市町教育委員会・教育研究所、学校・園が行う教職員研修や授業研究会において、県総合教育センターが連携して研修を実施し、実践と研修の一体化を図ることによって子どもの学ぶ力の確実な定着につなげます。

市町サテライト研修

センター職員が出向き、センターで作成した研修パッケージを活用することで、センター研修と同様の研修効果が期待できます。

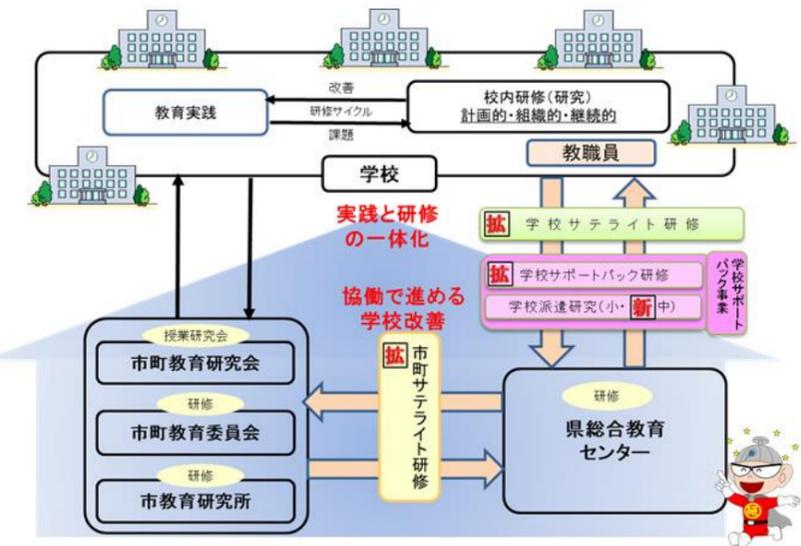
学校サテライト研修

学校・園からのニーズに応じてセンター職員が出向き、支援を行います。

センターHPの「学校支援」内に掲載している一覧表をご参照のうえ、下記までご連絡ください。
TEL 077-588-2313 学ぶ力向上係まで

学校サポートバック研修

市町教育委員会が指定する学校での授業研究会等に複数回センター職員が出向き、学校を丸ごと支援します。令和3年度は、中学校での支援がスタートします。



令和2年度センター事業にかかるアンケート結果《抜粋》

※詳細はセンターHPの「センター紹介」をご覧ください。

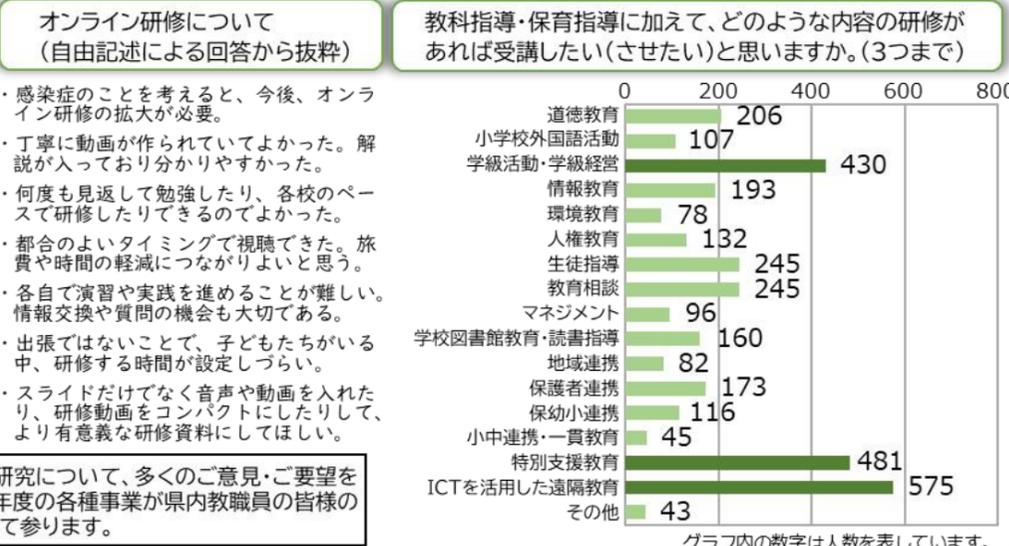
対象：県内の幼・小・中・高・特別支援学校等、市町教育委員会および教育研究所等の教職員

実施時期：令和2年8・9月

回答数：1,307人

ご協力ありがとうございました。

オンライン研修やICTを活用した研修・研究について、多くのご意見・ご要望をいただきました。この結果を踏まえ、次年度の各種事業が県内教職員の皆様のニーズに合うものとなるよう一層努力して参ります。



令和2年度の研究成果をご活用ください

プロジェクト研究

小学校 中学校	読み解く力	「読み解く力」の育成に重点を置いた、全ての児童生徒が学びを実感できる授業づくり －「分析・整理」のプロセスを重視して－
	特別の教科 道徳	児童生徒が自ら成長を実感し、さらに意欲的に取り組もうとする小・中学校道徳科の授業づくり －学習状況や道徳性に係る成長の様子の評価とフィードバックの充実－
	情報教育	小・中学校における児童生徒の情報活用能力を育成する授業づくりのあり方 －児童生徒がICTを適切に活用する学習活動の充実を図る校内研修を通して－
特別支援 学校	特別支援教育	特別支援学校における自分らしい生き方の実現に向けた取組 －ICT活用による児童生徒の思いや願いを叶える実践を通して－

小学校派遣研究

小学校	国語科	自ら学びをつなげることができる児童の姿を目指す小学校国語科の授業づくり －「書くこと」と「知識及び技能」の指導事項を相互に関連させた指導の工夫－
	算数科	数学的に考える資質・能力を育成する小学校算数科の授業づくり －図形領域における思考と表現のプロセスを重視した数学的活動による深い学びの実現－

課題研究

小学校	理科	問題を科学的に解決することに児童が主体的に取り組む、問題解決の力を養う小学校理科の授業づくり －全ての児童が目指す姿を意識して取り組むことを通して－
	外国語科	小学校外国語科におけるコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力の育成 －妥当性と信頼性を高めたパフォーマンス評価を生かした指導を通して－
高等学校	理科	科学的に探究するために必要な資質・能力の育成を目指した高等学校理科の授業改善Ⅲ －「考察・推論」に重点を置いた探究の過程を踏まえた学習の実践とルーブリックを活用した学習評価を通して－
	数学科	数学的に考える資質・能力の育成を目指した高等学校数学科の授業づくり －数学的活動にパフォーマンス課題を取り入れた言語活動を充実させる指導と評価の工夫－

令和2年度「第63回 研究発表大会」

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、オンライン(オンデマンド型)による開催となりました。研究内容は、研究論文(第63集)として各校にお届けします。また、サテライト研修においても発表いたします。ぜひ、ご活用ください。



特別支援教育相談について

学習面や生活面で困難な状況がある幼児・児童・生徒の特別支援教育に関する相談に、専門の相談員が具体的な支援内容等を一緒に考えます。また、特別支援学級の担任や通級による指導の担当者等の授業づくりや個別ケースの指導・支援に関する相談にも応じます。

- 連絡先…TEL 077-588-2505(教育相談専用電話)
- 対象…本人(幼児・児童・生徒)・保護者・教職員等
- 方法…来所による相談、電話による相談
- 相談日…月～金曜日(祝日、年末年始等を除く)
- 相談時間…9:00～12:30、13:30～16:30

図書資料室より

新館2階図書資料室では、教育関係の本や資料を閲覧したり、借りたりすることができます。令和2年4月から12月まで、300冊の貸出がありました。今後ともどうぞ、ご利用ください。



教育学習情報が役立ちます

研究成果(研究論文、研究成果物)や実践事例、教材などの教育学習情報をご活用ください。日々の実践に生かせる様々な情報をご覧いただけます。検索ページへは、センターHPの上部バナーからが便利です。